
お悩み相談部活動日記(笑)

兎夢

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

お悩み相談部活動日記（笑）

【Nコード】

N3936M

【作者名】

兎夢

【あらすじ】

「これは、俺達がちょっとおかしな部活を作って毎日騒ぐだけ。以上。」

『ちょっと待てー！！』

「うるさいな、何だよ二人とも？」

「お前、なんて事言っただよ！俺達毎日遊んでるみたいじゃなか！」

「え？違っの？」

「タイトルのとうりちゃんとお悩み解決してるでしょ！？」

「まあまあ、ケンカするなよ。」

『作者！？』

「という訳で半ば強引に始まるよ。」

『えー！！！！？？』

お悩み相談部活動日記（笑）

「なあ、橋。部活を作らないか？」

「は？」

こいつはいきなり何ほざいているのだろうか？

そもそも、新しく部をつくるために必要な部員と顧問、それから場所はどうするといふんだこやつは？

念のために尋ねて見た。

「なあ、部活に必要なものは何だ？」

「馬鹿だなあ、そんなの決まってるじゃんか。」

「言ってみろ。」

「情熱！！！」

「すまん。話しにならん。他当たってくれ。」

「ひどい！？俺にはお前しかいないんだ！見捨てないでくれ。」

「すまん。無理。というかキモい事言っなよ。」

ヤバイ。こいつのせいで吐き気してきた。それに第一まだ人物紹介すらすんでないじゃないか。という訳で適当に紹介する。

俺が御手洗^{みたらい}橋^{きょう}。

橋と書いて橋と読む。よろしく。

そして、隣のアレな奴が、喜田村^{きたむら} 海人^{かいと}。変態。以上。

「よろしくな！」

「勝手に人の思考読んで話進めるな。そして、ツツコミなし？」

「ええい！うるさい！うるさい！うるさい！話戻すぞコンチクショ
ー！」

あ、ついに無理やり話進めるきだ。

「とりあえず、昼休み部員探しの旅に出ようぜ！」

「一人で行け。」

「うわーん！橋がいつもの五倍冷たいよう。もうあの日の誓いを忘れたっていうのか！？俺の事一生幸せにするって……。」

「お前がいつもの五倍おかしな事しか言っていないからだよ。それに俺はそんな気色悪い誓いは死んでもしない。」

しかし、なんだかんだ言って結局手伝うしか道がなかった。なぜなら、まだ友達が少ないこの時期は一人だとすぐ暇なのだ。つまり、俺達はまだピカピカの高校一年生。入学してまだ一週間しかたっていない。

「よし！それじゃ、部員探し開始！最低10人は部員集めるぞ！！
えい、えい、おー！！！」

「おー」

海人のテンションに適当に合わせておく。第一まだ、部活がどうだこつだ話すのはまだ早いと思う。そして、こんなまだ出来てもない部活に誰が入るなどというのだろうか。まったく。あ！海人にまだ聞いていない事があった。

「なあ、海人。」

「何だよ、良さそうな奴見つかったのか。」

「いや、まだ。」

「じゃ、何だよ？」

「あのさ。」

「うん、何だよ早く言えよ。」

「俺達、今日会ったの、初めてだよな。」

そう、俺達は今日友達になったばかりなのだ。それにしてはすごく馴れ馴れしくないだろうか。そんなことをいうと海人は、

「男が女みたいに細かい事気にすんなよ。それともお前、玉ないの？」

俺は海人に右ストレートをお見舞いした。

いろいろな奴をスカウトしまくったが、海人の部活に入るといふ物

好きな奴はいなかった。

そして、放課後。

「あんた達、俺達の部に入らないかとか言って回ってるおかしな奴らは？」

突然、気の強そうな女子が俺達にそんなことを聞いてきた。

「うん、そうだけど」

すると、とんでもない事を言い出してきた。

「アタシも、その部に入れなさい！！」

いた、物好きな奴。

お悩み相談部活動日記（笑）（後書き）

はじめまして。

いかがでしたか？

この小説の作者である僕ははっきり言ってドシロウトです。

つまらなくても海のような広い心で許してくれるととてもうれしいです。

そして、良かったら感想、またはアドバイスをくれると作者はめちゃくちゃ喜びます。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3936m/>

お悩み相談部活動日記(笑)

2010年10月9日17時45分発行